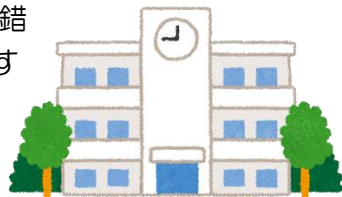


コロナ禍での新しい日常生活の中でインターネットによる会議やビデオ・文字チャットを使うことが多くなってきました。これらを使うことが当たり前の生活となり、これまでとは変わりつつあります。

高校で遠隔パソコン文字通訳 実施スタート

県内高校生に通う聴覚障がいのある生徒を対象に遠隔での文字通訳が開始しています。これは全日本ろうあ連盟が阿部知事と面談した際に、GIGA スクール構想における情報保障の要望をして実現したものです。GIGA スクール構想とは、一人1台端末で高速大容量の通信ネットワークを整備し、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化し、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を整えることです。その中で聴覚障がいのある生徒への情報保障として、授業中の音声をリアルタイムで表出できるように文字通訳を遠隔で実施しています。要約筆記者など知識と経験のある方々にご協力いただいています。文字入力者は主に自宅で作業し、インターネット通信を使って遠隔で生徒のパソコン等に表示します。これは全国的にも先駆的な取り組みで、県内の高校では初めての試みです。まだまだ試行錯誤というところですが、聴覚障がい者の学びの環境が整いつつあります。

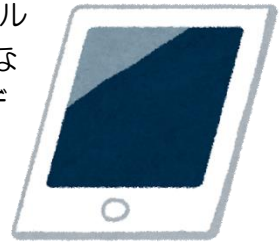


年末年始緊急相談

年末年始は情報センターが閉館していますが、コロナ関係など相談をしたいという場合もあると思います。県聴覚障害者協会では年末年始(12/28~1/4)に急病やトラブルなどの急を要する相談に対応するため、スカイプやラインで相談を実施しました。長野県内の聴覚障がい者を対象とし、ろうあ相談員が対応しました。電話

以外の手話や文字による相談ができることで、安心して年末年始を過ごすことができたと思います。

また、情報センターでは開館時間内に相談を受け付けています。メールやファクスの相談だけでなく、スカイプを使ったビデオチャットでの相談も可能です。お気軽にご利用ください。



NET119 が広がっています

インターネットを使って119番通報ができるNET119が県内で広がっています。



県内の状況は下記の通りです。

(令和3年1月現在)

佐久広域 / 諏訪広域 / 飯田広域 /
北アルプス広域 / 長野市 /
上伊那広域 / 上田地域広域 (R3.4 から)



NET119の詳細内容については情報センターニュースNo.10をご覧ください。

国際手話にチャレンジ!

情報センターにある本を紹介します。

「Let's Try 国際手話」

全日本ろうあ連盟 発行
海外のろう者とコミュニケーションに使えるよう、基本的なあいさつや買い物などの国際手話を紹介。また、国際手話の特徴、体験談、世界のろう者の文化などのコラムもあり、楽しく読める本です。

